



# 長屋

Vol.2 (千林編)



千林めぐり  
SENBAYASHI RESERCHI PROJECT 2nd

## はじめに

前回の「長屋 vol.1 (大宮編)」に続いて今回は「vol.2 (千林編)」として、千林・今市地区を対象に長屋の魅力の観察・収集を行いました。千林・今市地区には京街道が通っており、まちとしての歴史は大宮地区に比べかなり古いんじゃないかと予想していました。そこで地区(主に千林界隈)の歴史と、長屋に関連する時代の流れを追っていくことで、まちの歴史から追う長屋の魅力を発見することができるとは思いませんでした。今回は資料編として千林界隈の簡単な住宅史を掲載しています。魅力せしクショも個性溢れる長屋が集まりました。MAPは前回の大宮地区のマップも掲載しているので、比較して見るのもおもしろいかも。大宮編、千林編両方のMAPを片手に千林界隈の長屋を巡ってみてください。

日時：2010年11月16日 ××××：1班 (田中千枝子、堀藤平)  
2班 (白石将生、堀藤平、山脇佳子)  
3班 (池田健太、高島大輔)  
4班 (笠井拓郎、永野真也)  
17:00 終了

①表紙  
②はじめに  
③千林界隈住宅史年表  
④長屋魅力せしクショ  
⑤感想&情報

・長屋の型別マップ情報 (千林編)  
・長屋 (大宮編) のマップ情報

## 「長屋 vol.2 (千林編)」の見方



長屋の型	千林地区の事例	大正	昭和	平成
1870	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1880	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1890	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1900	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1910	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1920	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1930	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1940	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1950	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷
1960	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷	豊田屋敷

1班  
・全体的に長屋は少ない。  
・大宮地区と比較して長屋として定義した型に分類できないものが多い。  
・明治期からの道が南北に3本ある。今市商店街沿いには長屋?商店が並び、京街道には長屋がホッポツある程度。商店街と京街道の間の道にはお寺が多く、古くある街道であることがわかる。この街道沿いには長屋が1つも無い。

2班  
・2~3の連棟が多い(大宮よりは少ない)  
・型はほぼ台所型で、まれに門扉がみられた  
・軒は出桁と箱軒が多い(商店街、1号線沿いは箱軒が多い)  
・守口市の住宅は屋敷が多い  
・大宮より時代が古い長屋が多いイメージ(外壁モルタル少ない)  
・昭和期長屋で意匠がきちんとしている長屋が多い。

3班  
・長屋は少ない(商店街を除くと30くらい)  
・長屋カフエの地域に多く長屋が残っている(オナーカ運営)  
・商店街に長屋が多い(銅張り外観)

4班  
・長屋が少ない、きれいに連棟しているものが少ない。  
・1つ取り残されている長屋もある。  
・集落があった部分には長屋がなく連売の住宅があった。  
・大宮地区と千林地区の2つの地区の変化が見られてよかった。

全体  
・Q1.なぜ今市商店街東側には、多く長屋がこのこっているのだろうか?  
- A.他の地域には集落があった為、長屋を作られる余地がなかったからではないだろうか。  
・Q2.勉強会で予測したように、明治期の集落の名残はあったか?  
- A.けらば多いこと、長屋が少ないこと、出桁が多かったこととは、名残かもしれない。

## 千林住宅史

今の千林の住宅街が形成されるに深く関わっていると考えられる出来事をまとめました。  
※「長屋の型」については「vol.1 長屋 (大宮編)」を参考下さい。

## 長屋の魅力セクション

今回歩いて見つけた長屋の中で特に魅力的だったものをセレクトしました。

**1 「長屋6レンジャー」**  
千林の大通り沿いにずらりと並ぶ長屋郡、誰がリーダー?と思わせるような大型の長屋。似ているようで少しずつファサードが変化していきます。

**2 「グラデーション長屋」**  
屋根の瓦が、赤から銀へと見事なグラデーションを見せる長屋。台所の上にある小さな屋根も魅力的。

**3 「蒼の長屋」**  
深い海の色のような蒼いタイルが美しい長屋。時を経てくもくすむことなく、まちにたたずんでいます。

**4 「THE 長屋」**  
長屋を説明する上でお手本のような意匠の長屋。4軒長屋と5軒長屋の意匠も統一され、その間の路地も美しい。所有者の「残す」意気込みが伝わってくる。

**5 「モダニスト長屋」**  
モダンな建築の象徴である「パラベット」を連棟長屋全てが取込んだ長屋。直線がきれいに揃いまさに「モダン」である。平屋のため機能上全く意味のないこの意匠への執念は素晴らしい一言に尽きる。

**6 「更新増殖長屋」**  
最初は平屋建てであった長屋が、散髪屋・美容院・2階建て住宅となって飛び出している。長屋の原型を残しつつも、時間の経過とともに更新され、増殖していている。

**7 「曲面長屋」**  
曲がった細い路地に沿って建てられた長屋。路地に沿ってファサードが変化していき、一目ではどこまで続くか分からず、道に誘い込まれそうでおもしろい。

**8 「木製窓が素敵長屋」**  
格子や手すりが木製の長屋、木のぬくもりと彫刻の細やかさが引き立つ建物です。植栽も連続していて、お隣さんが水を一緒にやってくれそう。

**9 「レンガ路地長屋」**  
細い細い道を入っていくと、珍しいレンガでできた路地と長屋が現れます。昔にタイムスリップした気分になります。

**10 「モダン長屋」**  
国道沿いで、圧倒的な存在感を放つ長屋。お菓子屋さんの斬新な色遣いから、モダンな香りがふんふんと漂ってきます。格子のデザインにもご注目。

**11 「牢獄長屋」**  
道沿いに建てられた木枠が、牢獄を彷彿とさせる長屋。横には未知の世界へと導く謎の石橋。一体その先には何が……(注：奥は普通のおうちです)。

**12 「ハワイアン長屋2」**  
大宮編に続き千林にもありました!!!しかも隣の長屋よりセットバックして植栽スペースを設ける意気込み!!!千林には他に2件のハワイアン長屋がありました。

**13 「パワースポット長屋」**  
増築された2階バルコニーに鎮座する地藏尊。少し入り込んだ道に並ぶ長屋と地藏尊によって、パワースポットのような空間に感じられる。

**14 「森の別荘長屋」**  
外壁の補修をするために、「木目調の金属板」が用いられた住宅。その補修のされ方は、簡易に済ませたためか、袖壁に沿って斜めに金属板を貼られたものになっている。下の植栽と重なって森の中に建てられた別荘のように見える。

**15 「ど根性長屋」**  
周辺の長屋は全て建て替えられ、一番端の住戸だけが取り残されていると考えられる。最後の戸になっても、昔こそが長屋が軒を連ねていたという痕跡を残し続けている。